

農業について学ぼう③

お母さんが食べた時、赤ちゃんへの影響は？

お腹に赤ちゃんがいたり、お乳をあげたりしているお母さんは、食べ物にとっても気が付いていますね。食べ物に含まれる農薬については、お母さんと赤ちゃんの健康が守られるように国が安全性をしっかりと調べています。



キッズ
ボックス

KIDS
BOX

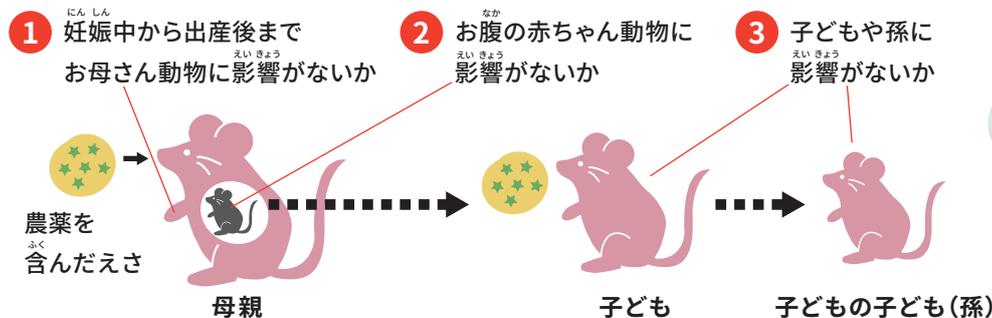


赤ちゃんがいるお母さんは、食べ物にある農薬を心配した方がいいの？

食品安全委員会は、妊娠から出産後、子や孫までの影響を調べてしっかりチェックしているよ。動物での試験結果が人にあてはまるかどうか慎重にみているんだ。



動物試験の結果をチェック



農薬の安全を守るためには動物も大事な役割をしてくれているんだね。動物たちに感謝しなくちゃいけないね。



農薬は、お母さんや赤ちゃんへの影響以外の試験結果も合わせて検討して、「人が一生涯、毎日食べても大丈夫な量」を決めているの。その量を超えないように使い方や使う量が決められているのよ。
だから、お母さんは心配せずに、お米や野菜、くだものなどいろんな食品をバランスよく食べて欲しいな。

ここが大切！

農薬については、いろいろな情報が多く流れていて、不安を感じがちです。また、安全を守るための制度も複雑でわかりにくいですが、でも、農薬の安全性は、「食べる人の安全」については食品安全委員会や厚生労働省、「使う人の安全」は農林水産省、「環境中の生き物の安全」は環境省が調べています。「3つの安全」を守るため、いろいろなルールが細かく決められています。

食べ物に残った農薬の安全性は「農薬についてその4」も確認してみてくださいね。



「農薬について その4」

キッズボックス「農業について学ぼう」は計3回のシリーズ（2022年10月、2023年2月、3月号）でお届けしています。

農薬について「生き物」に対する影響を調べているところは、どこかな？

①環境省 ②農林水産省 ③食品安全委員会

①：🔍

令和5年(2023年)3月
内閣府食品安全委員会



調べてみよう

キッズボックス

検索

<https://www.fsc.go.jp/kids-box/>